

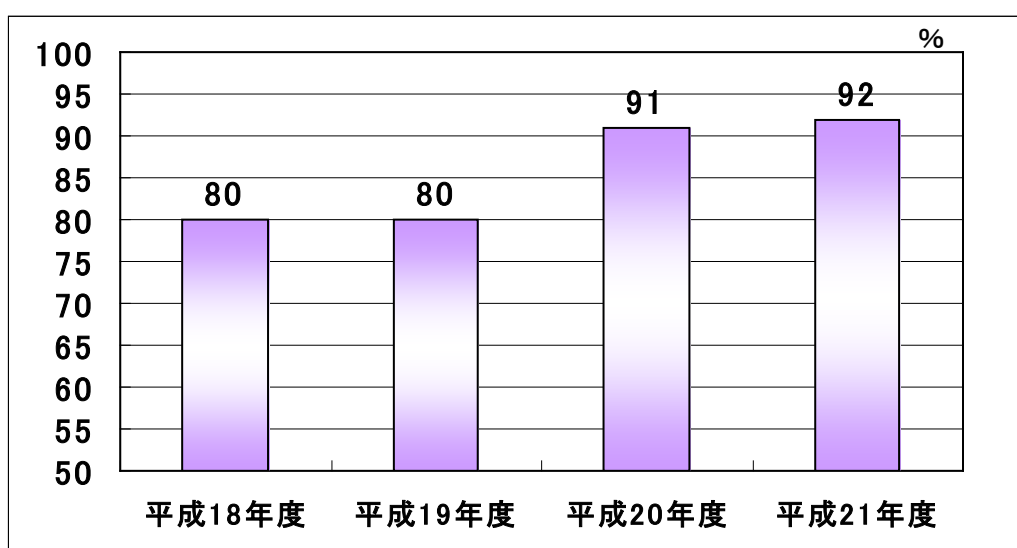
ねらい

小中学校に ICT 環境を整備するとともに、教員の ICT※活用能力と情報教育に関する指導力を高めることで、ICT を活用したよりわかりやすい授業の実現と、情報活用能力を持ち、情報社会に適切に参画していくことのできる子どもを育てる環境を整備します。

※ICT (Information and Communication Technology) は情報通信技術のこと

現状と課題

ICT を活用して学習活動の指導ができる教職員の割合の推移



(平成22年2月 四日市市教育委員会「平成21年度 授業におけるICT活用等の実態調査」)

平成21年度は、環境整備や研修等の効果により92%に向上しました。今後はこれらの活用をさらに推進するために、より効果的なICTの活用方法の研究や実践的な研修を行うことと、日常的な活用を実現するための環境整備が必要です。

今後の方向性

○ 情報教育機器の更新と環境整備

情報機器の定期的な更新や、電子黒板等のICTをより活用しやすいものにするための環境の整備を図ります。

○ 様々な教育活動におけるICT活用の推進

よりわかりやすい授業の実現のために、普通教室で効果的なICTの活用を推進していく必要があります。そのために、より実践的なICT活用研修講座や学校への出前講座等を実施し、様々な教育活動の場面での情報教育機器の活用能力を高めていきます。

○ 児童生徒の情報活用能力の向上

児童生徒に対して、これからの情報社会に適切に参画する態度の育成が必要となります。そのために、情報活用能力の向上と情報モラル教育の推進を行っていきます。

その他の主な取組状況

OICT 活用のための環境整備

平成10年度からマルチメディアとネットワークに対応したコンピュータの導入を始め、平成14年度にすべての小中学校（62校）にコンピュータをおよそ40台、教師用コンピュータ1台、管理用サーバ1台を配備しました。これによって児童生徒が一人1台利用して学習する環境が実現しました。また、図書館ネットワーク用コンピュータを配備し、学校図書の利用の効率化と情報共有が実現されています。

平成20年度には、教職員用コンピュータを配備し校務処理や情報共有、ソフトウェアやネットワークを利用した教材研究ができるようになりました。

また、平成21年度には小中学校に電子黒板と書画カメラ（実物投影機）等の周辺機器、コンピュータを3～4セット設置すると同時に教室等へのネットワーク整備と中学校にデジタル教材ソフトウェアを導入したことによって、ICT活用がより効果的に行える環境となりました。

OICT 活用の推進のための研修・支援

教員向けに、情報モラル教育、授業における情報活用、学校ホームページの作成などの情報教育研修講座を開設し、情報教育全般における指導力の育成を図っています。また、平成21年度には、全小中学校において、授業で効果的にICTを活用するための研修を設定し、教育支援課出前講座として実施しました。

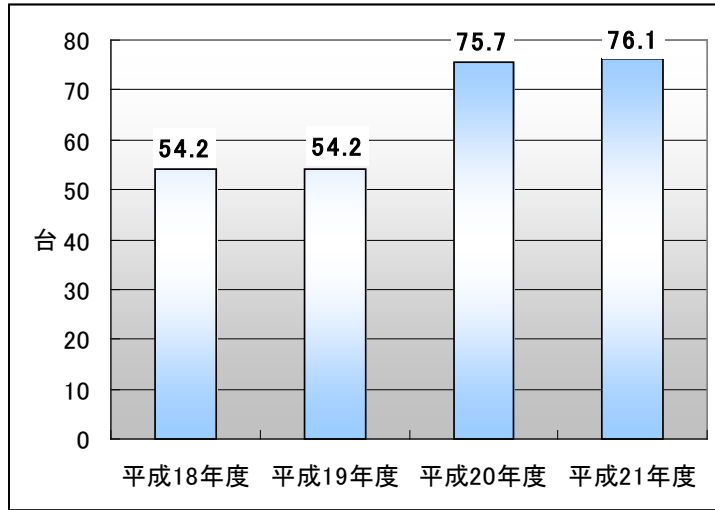
また、ICT活用推進のためのサポートとして、各種マニュアルの作成、Q&Aの発行、教職員に対するICT活用メールや教育センターニュース等による情報提供と、システム的な運用支援を行っています。

OICT 活用の推進のための研究

小山田小学校と中部中学校では、平成21年度より2年間の計画で重点課題研究推進校として、教科学習におけるICTの活用についての研究を行っています。平成21年度は実践を重ね、平成22年度には授業公開や研究会を開催し、ICT活用の推進を広めます。

また、市の課題研究としてICT活用の推進のための研修のあり方について研究を行いました。

＜小中学校一校あたりのコンピュータ
平均保有台数＞



（文部科学省 学校における情報教育の実態等に関する調査
平成21年度データは電子黒板用コンピュータを加えた値）

＜情報教育研修講座数の推移＞

